

各位

2023年7月10日
KNT-CTホールディングス株式会社
コーポレート・コミュニケーション部：梅津、岩本
TEL：03-5325-8547

旅行取扱状況の概観（令和5年5月分）

下記、月次取扱額は、近畿日本ツーリスト、近畿日本ツーリストブループラネット、クラブツーリズム、ユナイテッドツアーズ、KNT 商事の合算額となります。

記

国内旅行の取扱額は、一般団体は2018年比62.0%、学生団体は同77.0%、団体旅行合計では同72.6%となった。企画旅行については2018年比70.9%となった。

この結果、国内旅行総取扱額としては、2018年比69.5%と2018年を下回った。

海外旅行の取扱額は、一般団体は2018年比45.6%、学生団体は同20.2%、団体旅行合計では同41.4%となった。企画旅行については2018年比19.6%となった。

この結果、海外旅行総取扱額としては、2018年比26.8%と2018年を下回った。

訪日旅行については、2018年比134.1%と2018年を上回った。

以上の結果、ホールディングス主要会社の5月の総取扱額は、前年比153.5%と前年を上回る結果となったものの、2018年比63.5%と2018年を下回った。

【区分別の状況】

1. 国内旅行

国内団体については、前月に引き続いて慶讃法要案件の取扱いによる数値の底上げと、G7広島サミットおよび関係閣僚会合における関連需要（輸送・宿泊等）の取扱いがあったものの、職場旅行や学会等の取扱いが減少し、2018年比62.0%となった。学生団体は、修学旅行では、取扱い実施件数の減少による不調の結果となり、2018年比76.8%になった。

修学旅行以外の取扱いにおいては、宿泊研修の取扱いの減少により、2018年比77.0%となった。この結果、国内団体旅行合計では2018年比72.6%となった。

国内企画旅行については、2018年比70.9%となった。国内自社企画（フリー型商品）では、全国旅行支援の効果により販売を押し上げたが、2018年比は54.2%となった。クラブツーリズム国内（添乗員付商品）では、北陸地震の影響により、取消が増加した一方で、秘境や絶景などのツアーやひとり旅などのテーマ型旅行の販売が伸びた。

以上の結果、国内旅行の総取扱額としては、2018年比69.5%となった。

2. 海外旅行

海外団体については、スポーツ競技団体の世界大会派遣業務の取扱いや、経済団体、外郭団体等における視察案件の取扱いは好調で2018年を超えたが、企業報奨旅行はハワイを中心に復調傾向にあるものの2018年度までの回復には至らず、結果、2018年比45.6%となった。

学生団体は修学旅行以外の取扱い額が2018年より増えたものの、修学旅行の取扱いが減少し、2018年比20.2%となった。この結果、海外団体旅行合計では2018年比41.4%となった。

海外企画旅行については、2018年比19.6%となった。海外自社企画（フリー型商品）では、3月に新聞掲載をしていた香港は人気を見せたが、WEB販売と店頭販売ともに苦戦した。クラブツーリズム海外（添乗員付商品）は、スイスやクロアチアなどの自然系エリアが牽引し、ビジネスクラスを利用したツアーやクルーズの利用が増加したものの、2018年には及ばない結果となった。

以上の結果、海外旅行の総取扱額としては、2018年比26.8%となった。

3. 訪日旅行

訪日旅行については、米国大使館 G7 広島サミット、世界仏教婦人会京都団体参拝などの大型団体案件や春季の訪日レジャー案件が堅調に推移したほか、前月に引き続き、訪日個人旅行者向けオンライン宿泊販売、JAPAN RAIL PASS がいずれも顕著な回復基調となり、2018 年比 134.1%となった。

以 上

※前年実績においては新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け比較対象としては異常値となることから 2018 年度との比較にて表記。